

我が愛しのコレクション

会 期：平成18年3月3日（金）～4月4日（火）
 休 館 日：毎週月曜日
 （ただし4月3日（月）は臨時開館）

平成18年度最後の収藏品展となる本展では、通常の収藏品展の枠を拡大し、当館の館藏品9点に加え、二人の個人所蔵家から借用した107点の現代美術作品を組み合わせた展示を行った。展覧会を開催するにあたり、所蔵家宅で、複数回作品の調査を重ねた上で、作品を収集した三者の個性がそれぞれ出るように作品を選定し、会場構成を決定した。

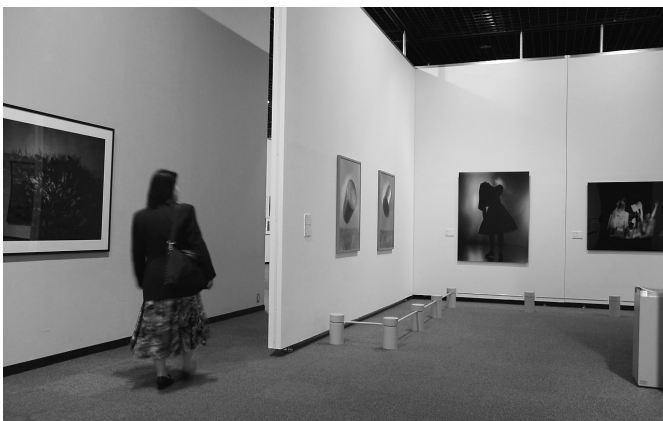
会場構成は以下のとおりである。

- Part.1 静岡県美コレクション
- Part.2 A氏コレクション
- Part.3 B氏コレクション

Part.1では、草間彌生《無題》、ドナルド・ジャッド《無題》、アンゼラム・キーファー《極光》など、開館以来、美術の現況をしめすコレクションの形成に努めてきた当館の現代コレクションを代表する作品の紹介を行った。Part.2では所蔵家A氏のコレクションの中から宮島達男、イ・ブル、小谷元彦など近年活躍が目覚しい作家で、当館で作品を収蔵していない作家を中心に構成した。なお、河原温の絵画については、所蔵家から借用した2点に加えて、当館が収蔵する3点を組み合わせて展示した。Part.3では、所蔵家B氏のコレクションの三本柱となる、(1) 李禹煥、山口長男の油彩画、(2) 現代の焼き物、(3) 写真コレクションの中から、収集家の個性が現れる作品を選定した。特に李禹煥の絵画については、B氏のコレクションの中でもとりわけ充実を誇る、1980年代後半の《風と共に》から《照応》シリーズへの移行期の作品を中心に選定し、以前より、同所蔵家から寄託を受けている《風と共に》3点を併せて展示した。



▲ Part.1 展示風景



▲ Part.2、Part.3 展示風景



▲ チラシ